

関西外国語大学留学生別科の日本語教育

(2021年10月現在)

土田恵未 (関西外国語大学)

mtsuchid@kansaigaidai.ac.jp

1. 機関基本情報

住所 〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町 16-1

電話 +81-72-805-2801 (代)

+81-72-805-2831 (国際交流部)

FAX +81-72-805-2830 (国際交流部)

E-mail inquiry@kansaigaidai.ac.jp (国際交流部)

URL <https://www.kansaigaidai.ac.jp/>

<https://www.kansaigaidai.ac.jp/asp/> (Asian Studies Program)

2. 留学生別科の概要とコロナ禍での対応

関西外国語大学留学生別科は、世界 55 か国 8 地域の 393 の大学と協定を結んでいる。年間延べ約 750 名の留学生が学ぶ。2020 年春以降、新型コロナウイルスの世界的感染拡大が取り巻く状況及び留学生の健康・安全の観点から留学生受け入れと対面授業実施を中止し、Zoom によるオンライン授業を提供している。受講者は主に協定校の学生であるが、それ以外にも一部希望に応じて履修を認めている。2020 年秋学期から 2021 年秋学期までの受講者数と原籍大学の国・地域数は以下のとおりであった。表 1 の国・地域名は、その 3 学期間分をまとめて示している。

受講者数

2020 年 秋学期 (8 月 31 日～12 月 19 日) 合計 353 名 22 か国・地域

2021 年 春学期 (1 月 25 日～5 月 29 日) 合計 347 名 24 か国・地域

2021 年 秋学期 (8 月 30 日～12 月 18 日) 合計 372 名 27 か国・地域

表 1 原籍大学の所在国・地域

1	Argentina	18	Latvia
2	Australia	19	Malaysia
3	Austria	20	Mexico
4	Bangladesh	21	Morocco
5	Canada	22	Netherlands
6	China	23	Norway
7	Columbia	24	Portugal
8	Czech Republic	25	Russia

9	Ecuador	26	Singapore
10	Finland	27	Spain
11	France	28	Sweden
12	Germany	29	Switzerland
13	Hon Kong	30	Taiwan
14	Iceland	31	Turkey
15	India	32	U. K.
16	Israel	33	U. S. A.
17	Italy		

3. 開講科目数

例年、学期により多少の差はあるが、開講科目数は粗方次のとおりである。

日本語関連科目 4 科目 (46 コース)

日本アジア関連科目 35 科目 (39 コース)

日本語関連科目は基本的に日本語で授業が行われる。日本アジア関連科目は英語で開講される。

3. 1 日本語関連科目

通常学期に日本語関連科目は「総合日本語」(必須)を初級から上級まで 8 レベル、同様に「Kanji and Readings」(選択)も 8 レベル、さらに中上級者向けに 2 科目(選択)開講している(表 2)。コロナ禍においては、履修者数との兼ね合いからレベル 8 を不開講とした。総合日本語は週に 3 コマ(1 コマ 90 分)、選択科目は週に 2 コマ行われる。

表 2 開講科目と主教材

	必須科目名	主教材		選択科目名	主教材
1	総合日本語 1	『げんき 1』	1	Kanji & Readings1	『げんき 1』
2	総合日本語 2	『げんき 1』	2	Kanji & Readings2	『Kanji Look and Learn』
3	総合日本語 3	『げんき 2』	3	Kanji & Readings3	『Kanji Look and Learn』
4	総合日本語 4	『げんき 2』	4	Kanji & Readings4	『Kanji Look and Learn』
5	総合日本語 5	『日本語 5』*	5	Kanji & Readings5	『日本語総まとめ N2 漢字』
6	総合日本語 6	『日本語 6』*	6	Kanji & Readings6	『日本語総まとめ N2 漢字』
7	総合日本語 7	『日本語 7』*	7	Kanji & Readings7	『日本語総まとめ N1 漢字』
8	総合日本語 8	(生教材を使用)	8	Kanji & Readings8	『日本語総まとめ N1 漢字』
			9	Business Japanese	『ビジネスのための日本語』
			10	Translation	(生教材を使用)

*本学教員により作成された独自教材を使用している。

LMS は Blackboard を使用している。コロナ禍においては、Zoom を用いた同期型(同時双方向型)授

業を中心に行っているが、同期・非同期型の方法やその割合は、各教員・レベル・コースによる。

授業時間の時差を考慮して、午前中に北南米及びアジア・オセアニア向けのクラスを、午後にヨーロッパ向けのクラスを開講している。

4. Intercultural Engagement Program

本学は、授業外での学生間交流の機会が豊富にある。現在は、従来対面で実施していた多文化交流プログラム（スピーキングパートナー・プログラム、ホームビジット等）の代替として、「Intercultural Engagement Program」をオンラインで実施している。これは学生主体で発案、企画するプログラムで、本学の学生と留学生が交流できる機会を提供する。

日本語教科書

佐々木仁子・松本紀子（2010）『日本語総まとめ N1 漢字：「日本語能力試験」対策』アスク出版

佐々木仁子・松本紀子（2010）『日本語総まとめ N2 漢字：「日本語能力試験」対策』アスク出版

坂野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子（2020）『初級日本語げんき1』第3版, ジャパンタイムズ

坂野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子（2020）『初級日本語げんき2』第3版, ジャパンタイムズ

坂野永理・池田庸子・品川恭子・田嶋香織・渡嘉敷恭子（2009）『Kanji Look and Learn 512 kanji with illustrations and mnemonic hints イメージで覚える[げんき]な漢字 512 Genki plus』ジャパントائمズ

米田隆介・藤井和子・重野美枝・池田広子（2006）『新装版ビジネスのための日本語（初中級）』スリーエーネットワーク